「教職実践演習」及び「教職カルテ」

龍谷大学教職センター

1 「教職実践演習」の趣旨

2010年度入学生から4年次後期に「教職実践演習」が導入されました。この科目は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、課程認定大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものです。

学生は、この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されています。

2 「教職カルテ」の趣旨

以上の趣旨を踏まえて、「教職カルテ」は、学生一人ひとりが4年間に教職に関わってどのような学びを行ってきたか、何を課題とするのかを、自ら適宜確認を行うために作成するものです。

「教職実践演習」では、これまでの「教職関連科目の履修状況」や「ボランティア等の教職に関連する活動の記録」とともに、特に、次の4つの事項に関わって、教員としての資質能力を自ら確認することが求められています。

- ① 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項
- ② 社会性や対人関係能力に関する事項
- ③ 幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項
- ④ 教科・保育内容等の指導力に関する事項

3 「教職カルテ」の構成・記入等

(1) 「教職カルテ」の構成

「教職カルテ」は、「教職関連科目の履修状況等（教職カルテ①）」と「自己評価シート（履修カルテ②）」の2部構成です。

① 「教職カルテ①」

「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」の履修状況と教員のコメント、及び「個人面談等の記録」を含んでいます。履修状況については情報を開示します。

② 「教職カルテ②」

「必要な資質能力についての自己評価」、「教職を目指す上で課題と考えている事項」、「教職に関連する学外実習（教師塾等）・ボランティア経験等の状況」の3部構成です。このカルテ②は各自が記載するものです。

(2) 使用目的

「教職カルテ」は、上記の自己評価として活用する以外に、2年次以降の各年次の終了時、特に4年次後期の「教職実践演習」時に担当教員が指導の参考として利用します。

(3) 記入方法等

2・3年次の終了時、及び4年次前期終了時とします。記入に関する期限や諸注意については、適宜、教職センターから指示をします。

(4) その他

- ① 各自の課題については、担当教員に相談をし、できるかぎり早期に克服するように努めてください。
- ② このカルテは、あくまで教職指導の一環として使用するものであり、知り得た個人情報をも他の目的に使用することはありません。

龍谷大学教職課程 教職カルテ①<教職関連科目の履修状況等>

学籍番号	学部・学科等	氏名

(1)教職科目

区分	授業科目名	単位	修得年度	評価	教員	履修者の具体的な傾向・特徴
記入例	〇〇〇〇	2		A	〇〇〇	基本的な知識技能は身に付いている。
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論 A	2				
	教育原論 B	2				
	教職論	2				
	学校教育社会学	2				
	学習・発達論 A	2				
	学習・発達論 B	2				
	特別支援教育概論	2				
	教育課程論	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育指導法	2				
	総合的な学習の時間・特別活動論	2				
	教育の方法と技術（ICT 活用含む）	2				
	生徒・進路指導論	2				
	教育相談	2				
教育実践に関する科目	教育実習指導 I	1				
	教育実習指導 II A	4				
	教育実習指導 II B	2				
	教職実践演習（中・高）	2				

龍谷大学教職課程 教職カルテ②<自己評価シート>

(1) 必要な資質能力についての自己評価

次の各項目をよく読み、自己評価をしてみよう。評価方法は下記の4段階です。当てはまる番号を右の自己評価表の該当欄に記入しよう。【1:不十分 2:やや不十分 3:ほぼ十分 4:十分】

必要な資質能力の指標			自己評価	自己評価	自己評価	自己評価	自己評価	自己評価
項目	項目	指標	2年次	2年次	3年次	3年次	4年次	4年次
			前期	後期	前期	後期	前期	後期
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。						
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。						
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。						
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を習得していますか。						
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。						
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育など、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。						
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスを耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。						
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。						
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。						
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。						
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。						
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。						
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。						
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。						
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	教科教育	これまで履修した教科教育分野の科目の内容について理解していますか。						
	教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領の内容を理解していますか。						
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。						
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。						
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。						
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。						
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。						
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができますか。						
	授業構想力	教材研究を生かした社会科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。						
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。						
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。						
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。						
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。						
課題探究	課題認識と探究心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。						
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。						